

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和6年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

5日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳火口底及びグスク火山の火口北側内壁の噴気孔で、前回の観測（2023年10月）に引き続き白色の噴気が確認されました（図2、図3）。また、島の北西岸で緑白色～緑色の変色水域の分布が認められました（図2）。



図1 硫黄鳥島 硫黄岳火口及びグスク火山火口の位置

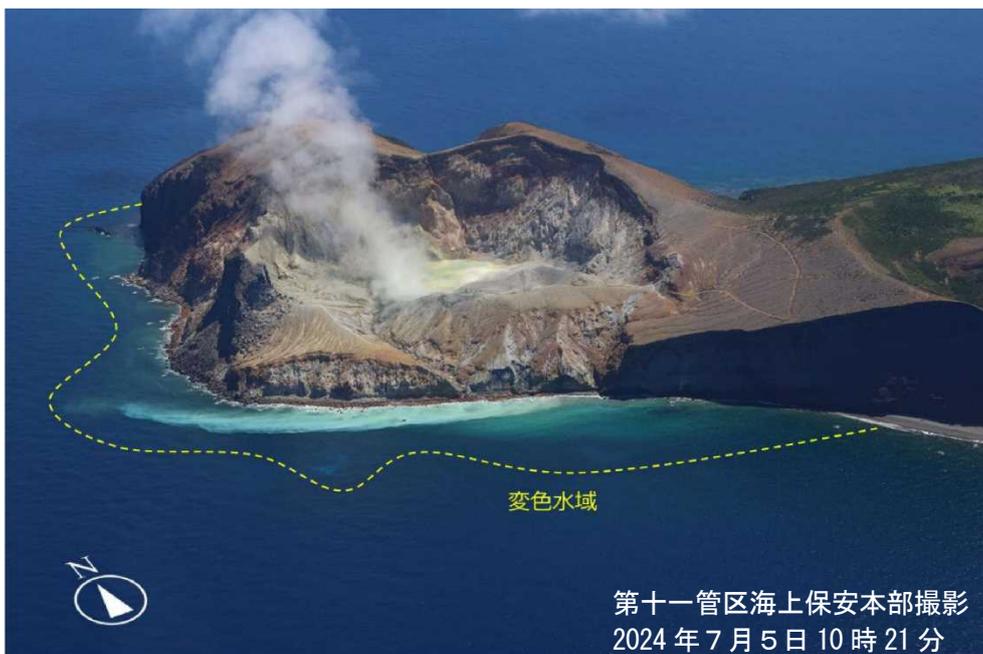
この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。



第十一管区海上保安本部撮影画像に加筆
2023年10月4日9時3分



図2 硫黄島 硫黄岳火口周辺及び変色水域の状況

- ・第十一管区海上保安本部が5日に実施した観測では、前回の観測（2023年10月4日）に引き続き、硫黄岳の火口底から白色噴気の放出が認められました。また、5日に実施した観測では、島の北西岸に緑白色～緑色の変色水域が認められました。前回の観測（2023年10月4日）でも、島の西岸で茶褐色～緑色の変色水域の分布が認められています。

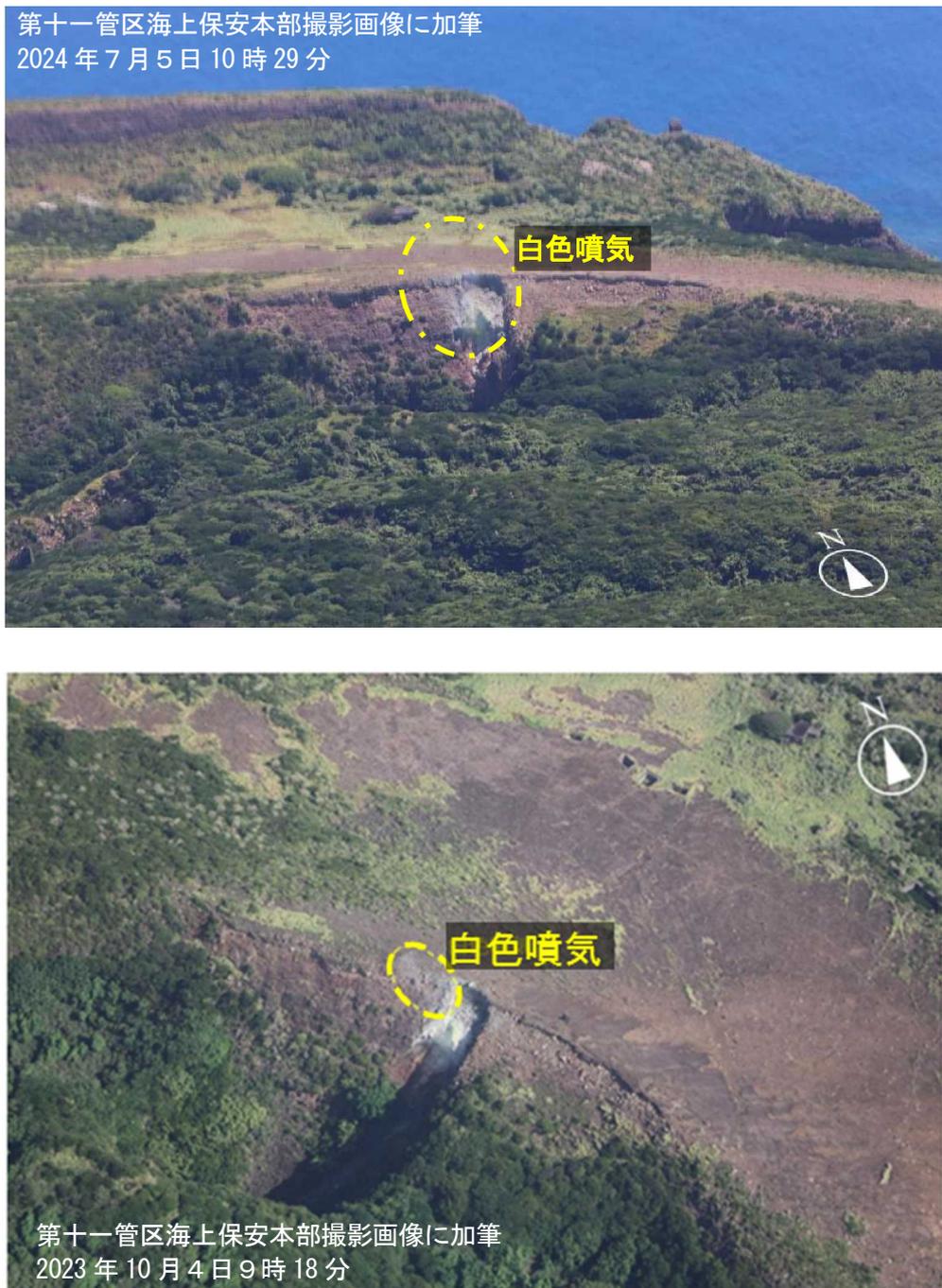


図3 硫黄島 グスク火山火口の状況

- ・第十一管区海上保安本部が5日に実施した観測では、前回の観測（2023年10月4日）に引き続き、グスク火山の火口北側内壁の噴気孔から少量の白色噴気の放出が認められました。